

2024 vol.03

12 / 21 sat

関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科

公開セミナー & 入試相談会

kwansei gakuin university

入場無料・事前申込制

* セミナー (13:00 - 14:20)

講演タイトル 今なぜ「外国語」を学ぶのか?
少数言語学習者の動機から考える。

かきはら たけし

講師 柿原 武史 (言語コミュニケーション文化研究科・教授)

* 入試相談会 (14:30 - 16:30)

※最終入場 16:00

西宮上ヶ原キャンパス 第4別館 403 教室

西宮市上ヶ原一番町 1-155



関西学院大学大学院

言語コミュニケーション文化研究科

tel.0798-54-6180

www.kwansei.ac.jp/g_language

公開セミナー 2024.12/21 sat (13:00-14:20)

入場無料
事前申込制

大学院言語コミュニケーション文化研究科の教員による講演会「公開セミナー」を開催します。
セミナーの後は、研究科説明会および入試相談会を開催します。
どなたでも自由にご参加いただけますので、お気軽にお申込の上、ご来場下さい。

*講演タイトル

今なぜ「外国語」を学ぶのか？
少数言語学習者の動機から考える。

*概要

機械翻訳やAI技術が進歩し、いわゆる「外国語」を学ぶ意義が問われるようになってきました。観光地では、スマートフォンに話しかけて翻訳された音声を手元に聞かせる光景もよく見られるようになりました。近い将来、技術革新によって「ことばの壁」がなくなり、「外国語」を学ぶ必要がなくなるのでしょうか？本講演では、スペインの少数言語であるガリシア語を「外国語」として学習する人々の学習動機に着目し、言語を学ぶことの本質的な意義について考察します。そして、実用性や有益性のみを動機とした言語学習こそが、その意義を失う可能性があることを指摘します。

*講師紹介



かき はら たけ し
柿原 武史

(言語コミュニケーション文化研究科・教授)

関西学院大学商学部および言語コミュニケーション文化研究科教授。
博士(言語文化学)。専門は、社会言語学、言語政策研究。

■主な刊行物

- 『言語教育のマルチダイナミクス』(共編著、明石出版、2024年)
- 『NHK Eテレ しあわせ気分のスペイン語』(単著、NHK出版、2023～2024年)
- 『対抗する言語—日常生活に潜む言語の危うさを暴く』(共編著、三元社、2021年)
- 『今そこにある多言語なニッポン』(共編著、くろしお出版、2020年)
- 『NHKラジオ まいにちスペイン語初級編』(単著、NHK出版、2019年)
- 『頻度順一歩踏み込むスペイン語単語1000』(共著、三修社、2016年)

*会場アクセス

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

阪急電車 今津線「甲東園」駅
または「仁川」駅から西へ
徒歩約12分
または「甲東園」駅から
阪急バス約5分
「関西学院前」下車

西宮市上ヶ原一番町1-155
第4別館403教室

https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html



*「公開セミナー＆入試相談会」

詳細・お申込みはこちら



https://www.kwansei.ac.jp/g_language/news/detail/61

お申込み締切日: 2024年12月19日(木)